

不法にゴミを投棄し、地権者との間でトラブルが発生し、十五年間解決されない状況がある。市の責任は一〇〇%なので市長の任期中に解決すること。

野崎議員への答弁

一、私の任中に何とか解決をするか、はつきりしたためとは立てておきたいと考えている。



旧ごみ処理場問題の解決策は

市有地については市役所の中に公共用地のプロシエクト委員会を含めて売却できるものから売却していく。

萌芽のクラフ

一、第四次総合計画の検証について
二、まちを売り込むために何をすべきか

一、平成十八年度が最終年度となる第四次総合計画の検証を踏まえて第五次総合計画策定が必要。基本目標に沿って事業を展開してきたが、対岸貿易に向けたサハリンとの経済交流の可能性はあるのか。現在のゴミ最終処分場の使用年数は平成二十年頃まで、バイオマス構想に基づく見直し課題となる。留萌市の女性登用率は全道一位。女性パワを生かす政策が必要。二、全道から数多くの行政視察団が留萌市を訪れている。環境を重視したまちの魅力を生かす取り組みが必要。また、DVD制作が必要。また、営業セクションの配置も検討したい。

村山議員への答弁

一、ロシア、中国という経済成長を遂げている地域との関係を推進し始めたところだ。全く新しいごみ処理の技術を開発した企業があり、発展させてほしいと思っている。二、チャンスを与えることが先だということが多く、女性の活動にも大変良い影響を与えてきた。



数多くの視察者が訪れる市内の民間施設

市政のことが聞きたい

補正予算

一般会計補正予算

公債費
Q 市民生活に影響が少ない方法として平準化を選択したとの事だが、逆に平成二十二年以降から借金が増えマイナスの影響がでるのでないか。

A 三年間は元金の償還が据え置かれその後返済額が増える。この三年間で集中的に財政再建をする。市民負担増は極力抑えていきたい。Q 繰上償還の補正予算について

えてきた。二、全体的な広報活動という意味では、ホームページやDVDを使ってPRする際、市役所の果たす役割というのは非常に大きい。営業的な部分をもっと強化するという意味では、十分に考えていく必要があると考えている。

Q 給与体系、手当見直しの具体的数値が財政再建計画に示されていないがどのようになっているのか。
A 定数削減や独自の給与削減人事院勧告の実施、給与制度の見直し、手当ての適正化を柱に効果額を示している。
Q 人口減、三位一体改革などに影響されることなく再建するためには、企業会計、特別会計を含めた借換債を考へるべきで、十二月議会は借換債を除いた予算を再提案すべきである。また本議案は、新理事者のもとで方針を固め三月定例会での提案を要望する。

介護保険事業補正予算

Q 十月に介護保険制度の一部が改正され、施設介護サービス給付費が減額されているがその理由、人数を聞きたい。
A 改正により施設の居住費や食費、デイサービスにおける食費が個人負担となった。施設については二〇名程度の申請があり適応している。

三、大阪府阪南市「財政再建実施計画」について
阪南市は、平成十四年「市と市民の役割分担の明確化」「成果主義に基づく行政運営」「行政の透明性・公平性の確保」以上の視点に基づき財政再建計画を策定した。平成十五年に四十九名の勤労退職を進め、その結果翌年は二十億の人員削減効果などにより収支は好転した。



総務文教常任委員会 碧南市視察

民生常任委員会

(十一月二十八日委員会開催) (行政視察報告)
日程 十月十八日(二十一日) 一、岐阜県岐阜市「障害者生活支援センター」について
運営は身体障害者福祉協会に委託され、職員六人のうち四人は障害者で、相談業務だけでなく、様々な企画事業の実施、福祉教育の推進の一翼を担っていました。



民生常任委員会 岐阜市視察

二、愛知県大府市「公共施設養子縁組制度」所謂「アダプトプログラム」及び「ふれあい制度」について
アダプトとは、ボランティア活動を行う市民や地元企業が里親となつて、街の一定区画を自分の養子とみなして定期的に清掃活動を行い面倒を見る手法。現在三十四グループ、三十八人の市民が登録しボランティア活動に参加、市民が社会活動災害補償制度を導入して、安心して活動に参加できるように導入されたのが「ふれあい制度」です。
三、愛知県一宮市「市民活動情報サイト」及び「みんな子育て」について
インターネットを利用して市民に情報を提供。子育て支援に関して、市のホームページの中で、ゆめおりっこ広場の掲示板を開設して、子育てに関する情報を交換しあつております。
四、岐阜県羽島市「地域医療連携」について
病診連携開始は平成十四年四月から副院長が医師会との調整役を受持った、現在患者

紹介率三十五%、オープンベツト五床、医師会と市民病院が羽島メデイカル(医療情報研究会)を開催するなど、医療連携が進んでおります。
◆産業・建設常任委員会
(十月十四日市内公園施設視察) (十一月二十八日委員会開催) (行政視察報告)
日程 十一月八日(十一日) 一、愛知県岩倉市「ユニバーサルデザインの取り組み」について
当市では、これまで進めてきた「人にやさしい街づくり計画」の具体的な推進を目指し、「お互いを思いやり、すべての人が安全で、安心して暮らせる、心豊かなまちを岩倉」をユニバーサルデザインによる街づくりの理念として、その振興計画を策定している。
二、愛知県長久手市「田圃ハレ」構想について
単なる名古屋市のベッドタウンとしてではなく、名古屋にないもの即ち、農業を核として、老若男女みんなが暮らしやすい環境のまちづくりを目指し、これまでの人口を増やす政策から、環境を守る政策への転換をはかり、「農のある暮らし、農のあるまちづくり」を「田圃ハレ」構想として推進していくものである。
三、愛知県常滑市「常滑焼の紹介と観光情報の提供等を目的とする観光プラザの活動状況」について
当市は、古くから常滑焼に代表される陶器のまちとして有名で、今日に伝わる窯場の工場群等を貴重な地域資源として光をあて、それを「やきもの散歩道」として、観光振興と街の活性化に生かしている。



産業・建設常任委員会 岩倉市視察

傍聴席

蔵根倫美

朝からの除雪に半分ぐったりしながら、一般質問を傍聴する為議場へ。二回目之余裕!のはずが迷子となり議員の方に案内をされる始末。質問を読み上げている最中に入場したのですが、流暢でニュースを聞いていたような気分。市長の答弁は慎重に言葉を選びながらも、よどみなく時にユーモアを混ぜたもので、自信と余裕を感じました。市町村別女性登用率が留萌市はトップに位置している、これは市長が積極的に推進しているからで、来年以降も更にこの事期待しています。残念だったのは長時間でもないのに席を立つ落ち着きのない方が居た事です!

委員会活動

総務文教常任委員会
民生常任委員会
産業・建設常任委員会

◆総務文教常任委員会
(十一月二十二日委員会開催) (行政視察報告)
日程 十月十八日(二十一日) 一、愛知県高浜市「民間委託」について
新たな行政サービスに対応するため市が行わなければならない業務を限定することにより職員数の削減に向けた取り組みを実施した。配置換えなどにより新しい業務に対応できない職員には徹底的な意識改革を迫った。民間へ委託するための受け皿として、「高浜市総合サービス株式会社」を設立し、技能労務職をゼロにすることを目指した。「民間委託」の背景には単なる行政コストの削減ではなく、職員への意識改革があった。

二、愛知県碧南市「歩いて暮らせるまちづくり」について
室町時代より栄えた地区の歴史的文化施設を保存することと狭い道路の整備を初めとする生活環境の改善という両端に位置する課題に取り組んでいる。
特に、古い町並みを整備する場合、効率的な整備が個人の所有物を侵害する恐れがあるという課題を常に抱えている。

議会広報特別委員会

- 委員長 石塚正寛
副委員長 村上均子
委員 村田亮子
委員 江沢順次
委員 菅原千鶴
委員 松本衆司

編集後記

市長の任期終了まで後わずかとなり今回の議会広報は大枠の話が多くなってしまった。財政再建という重要なテーマでの質問が多く市民生活にも影響の多い一般質問が続いたが、残念ながら議員達の望む答弁は得られなかった。今回は補正予算で起立採決を取るという異常事態であったのも印象的であった。今後も市民にとって興味深い問題が目白押しである。ぜひ議場に傍聴に来ていただき議会の現状を知っていただきたい。広報の必要性も議論の対象になる時代である。是非市民の方々に読んでいただき議論していきたい。(菅原 記)